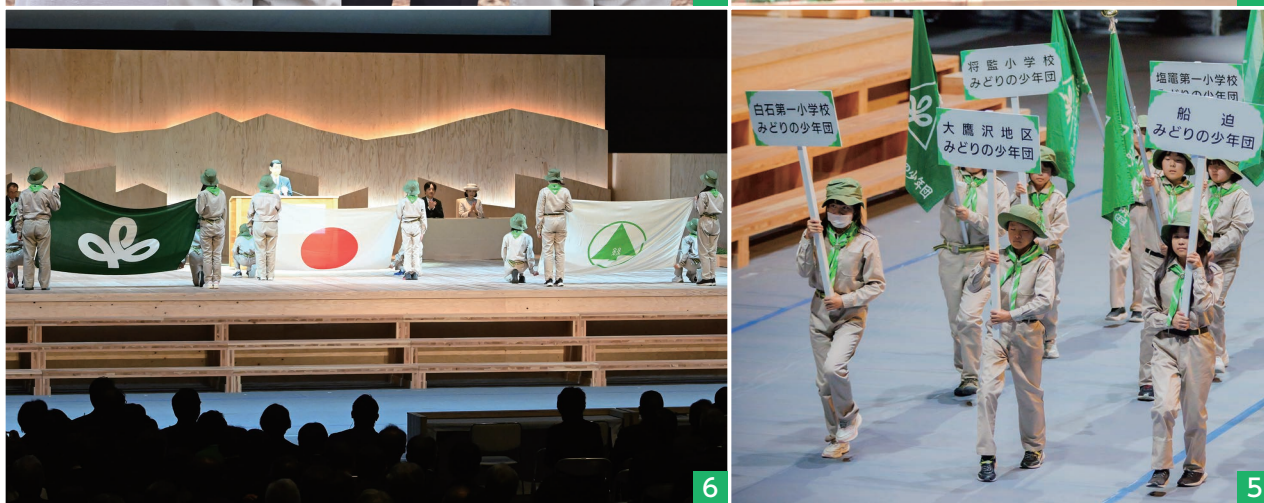




1_ブナの枝打ちをされる皇嗣殿下 2_オオヤマザクラの施肥をされる皇嗣妃殿下。施肥に使用された容器は、弥治郎系こけし工人の新山実さんが制作 3_埋め戻しをされる皇嗣殿下 4_団員に笑顔でお声がけされる皇嗣同妃両殿下。お手入れ行事では、越河・小原の団員がパネル説明、大平の団員が枝受け取り、白川の団員が鋤の受け渡し、福岡の団員が施肥容器の受け渡し、深谷の団員が鋸の受け渡しを行いました 5・6_三旗入場。式典行事には、白石第一・大鷹沢のみどりの少年団が参加しました



第48回全国育樹祭が開催されました

▲秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、緑の少年団員から説明を受けながら、第48回全国植樹祭などのパネルを御覧になられました

☎農林課 ☎22-1253

全国育樹祭 宮城県初開催！

令和7年10月4日・5日の両日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」をテーマに、「持続可能な森林づくりの継承」「伝統と新技術による木材利用の発信」「震災の教訓の伝承と新たな価値の創造」の3つを柱に、第48回全国育樹祭が開催されました。

お手入れ行事

10月4日、国立花山青少年自然の家南蔵王野営場でお手入れ行事が行われ、約300人が参加し、本市の越河・大平・白川・福岡・深谷・小原のみどりの少年団約60人は、パネル説明、介添え、記念育樹補助などに参加。お手入れでは、平成9年の第48回全国植樹祭で、当時の天皇皇后両陛下がお手植えなされたブナとオオヤマザクラに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ（枝打ち・施肥）などが行われました。

全国緑の少年団活動発表大会

10月4日、ホワイトキューブで、全国緑の少年団活動発表大会が開催され、約300人が参加。秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御覧になる中、全国から選ばれた緑の少年団による日ごろの特色ある地域活動の発表のほか、特別講演などが行われました。

式典行事

10月5日、セキスイハイムスーパアリーナで、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、式典行事が行われ、約4千人が参加し、本市の白石第一・大鷹沢のみどりの少年団約20人は、三旗（国旗・県旗・国土緑化推進機構旗）入場などに参加。式典では、緑化等功労者の表彰や、県内の緑の少年団から県外の緑の少年団に苗木の贈呈、また、緑の少年団の代表による活動発表や、アトラクションなどが行われ、皇嗣殿下は「緑化活動が今後も多くの人々に支えられ、一層発展していくことを期待しています」と述べられました。